

藤の窓口

フジを楽しむためのワンポイント



目 次

- 春日部市とフジ p. 1
- 「ふじ通り」 p. 1
- フジの種類と特徴 p. 3
- フジの花の名札・案内看板 p. 4
- 「ふじ通り」のフジの花 p. 5
- フジ管理のワンポイント p. 6
 - ポイント1 「花から摘み」 p. 7
 - ポイント2 「夏の剪定」 p. 8
 - ポイント3 「冬の剪定と誘引・結束」 p. 9
 - ポイント4 「病気・害虫」 p.10
 - ポイント5 「肥 料」 p.12
 - ポイント6 「花芽と日当たりについて」 p.12
- Q & A p.14
- 資料編
 - 過去の開花状況・「第34回春日部藤まつり」
 - ふじ通りの花の種類
 - ふじ通り案内看板

はじめに

春日部市は、特別天然記念物「牛島のフジ」でよく知られるように、フジの植栽の多い土地柄であり、フジの花は市の花としても指定されています。なかでも「ふじ通り」の延長約1 kmにおよぶフジの木の街路樹は大変珍しく、例年見ごろの4月下旬には、「藤まつり」が開催され、多くの市民や来街者で賑わっています。

「ふじ通り」は、昭和62年（1987年）に国土交通省の「手づくり郷土賞（ふれあい並木道30選）」を受賞しました。また、平成6年春には、フジの花を市の花に指定している各都市から市長が一堂の会する「藤サミット」が春日部市で開催されるなど「春日部の藤」を全国的に情報発信するとともに、春日部市が誇るフジの花の魅力を生かしたまちづくりを積極的に展開しています。

このように高く評価されているフジについて、市民の皆さんの知識・親しみをさらに高めるため、フジの基礎知識を知り、気軽にふれ合う機会を創出するため「藤の窓口」を設置しました。

市民のみなさまから、「フジの花が見つからない」、「咲かない」などのお問い合わせに答えるため、このパンフレットは、「ふじ通り」のフジの管理について、簡単なワンポイント形式にてまとめたものです。

ぜひ、ご活用いただき、ご家庭でフジの魅力をお楽しみいただけたら幸いです。

■ 春日部市とフジ

春日部市は、樹齢1200年以上、国の特別天然記念物「牛島の藤」でよく知られるように、フジの植栽の環境条件、土壌条件ともに適した土地柄であります。また、フジは「市の花」としても指定されており、なかでも「ふじ通り」の延長約1kmにおよぶフジの木の街路樹は、日本国内においても大変貴重な街路樹であり、春日部市の景観のシンボルとして市民に親しまれています。

例年見ごろの4月下旬には「藤まつり」が開催され、多くの市民でにぎわっています。この祭りには、市民はもちろん多くの来街者で賑わっており、地域の活性化、賑わいの創出といった面で大きく貢献しています。

シティセールスにおいては、「+1」StoryProject と題し、「ふじの魅力」をHP、SNS 動画にて積極的に情報発信しています。春日部市特有の景観シンボル価値の再発見のため、開花状況や管理状況、見どころなどをピンポイントで掘り起し、「春日部の藤」を市民の皆さんにとって「特別なもの」「春日部と言えば藤」という魅力に育てていくものです。

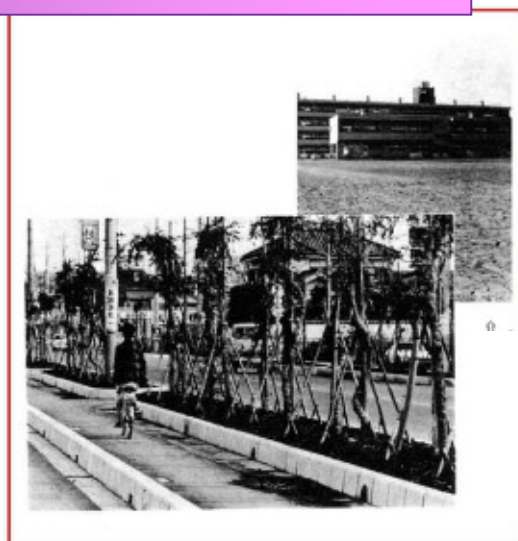


「ふじ通り」のムラサキナガフジ

■ ふじ通り

昭和48年、市制施行20周年を記念し、「牛島の藤」にちなんで藤の花を「市の花」に制定しました。その頃春日部駅西口は、昭和41年から始まった土地区画整理の最中であり、現在の「ふじ通り」となる「春日部駅西口大沼線」が整備されました。

また、昭和54年度、昭和55年度には区画整



当時の「ふじ通り」と市役所庁舎

理事業の一環として、「市の花」である藤棚の設置を行い、昭和58年度に市民から愛称を募集し、現在の愛称である「ふじ通り」と命名されました。

ふじ通りの概要



延長 L=1,281m
 幅員 W=25~30m
 藤棚の延長 両側で1,080m
 (建設時の延長)

藤棚の数 51棚 (駅に向かって左側24棚、右側27棚)

藤棚の高さ 3.15m

藤棚の幅 4.85m

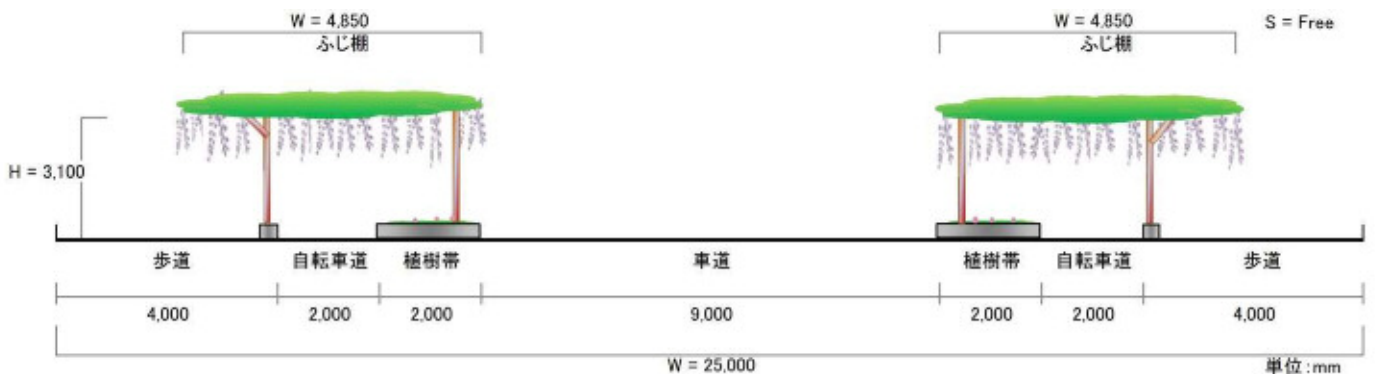
藤の種類 フジの種類 (植栽当時の記録)

シロバナフジ	純白色	房の長さ	20~30cm
アケボノフジ	淡い桃白色	//	20~30cm
モモイロフジ	淡い紅色	//	20~30cm
ヤエフジ	八重咲き	//	30~40cm
ノダナガフジ	淡い紫色	//	約1m

植栽年度 昭和54・55年度に区画整理事業の一環として施行

植栽本数 218本 (H27.4.1 現在)

ふじ通り 断面構成図



■ フジの種類と特徴

一般に「ふじ」と呼ばれている植物の学名は、マメ科フジ属（ウヰステリア属）です。日本、中国、北アメリカ原産の計7種がありますが、このうち園芸品種としては、日本原産のフジとヤマフジが代表的なものとなっています。

● フジ（フロリバンダ）

フロリバンダとは、「花が多い」という意味。花房が長く、花色や花容の変化に富んでいるため園芸品種がたくさんあります。つるは右巻きで、若葉には伏毛があります。

● ヤマフジ（ブラキボトリス）

ブラキボトリスとは、「短い総状の」という意味。花房は短い、長さの割りに大輪の花が咲きます。その形状から別名ダルマフジとか花美短（カピタン）ともよばれています。つるは左巻き、若葉には両面毛が密生するが、成葉は無毛となります。

フジの種類と特徴

フジの種類名	系統(品種)名	園芸品種名	花の特徴
フジ (フロリバンダ)	ナガフジ	ムラサキナガフジ	紫色/花房50～100cm/派生品種多数あり
	シロバナフジ	シロナガフジ	白色/花房60cm/小輪で遅咲き
	アケボノフジ	クチベニフジ	白色/花房30～40cm/蕾は淡紅色
	イッサイフジ	コクリュウフジ	濃藤紫色/花房20～30cm/丈夫で早咲き
	ヤエフジ	*ヤエコクリュウフジ	紅紫色/花房20～30cm/八重咲き品種
ヤマフジ (ブラキボトリス)	カピタンフジ (花美短)	ムラサキカピタン	紫色/花房10～20cm
		シロカピタン	白色/花房10～20cm/早咲きの大輪
		アカカピタン	紅色/花房10～20cm/最も紅色が濃い

*ヤエコクリュウフジは、大沼地内の市民体育館前の西側藤棚に植栽されています。

「ふじ通り」に植栽されたフジは、ヤマフジを台木としたものに園芸品種をつぎ木（高つぎ）したものです。一般的に台木とする木の太さ（幹周）15cm位で約10年生以上のものを使うことから、平成28年度で推定樹齢49～52年位であると思われます。

■ 「ふじ通り」のフジの花

「ふじ通り」には、花が多く房の長い「フジ」と花の房の短い「ヤマフジ」の2種類のふじが植栽されています。なお、安全な歩行空間確保の観点から、房の長さは60cm前後のものが主流となっています。

ふじ通りには、花の房が長く下垂する「ムラサキナガフジ、コクリュウフジ、クチベニフジ、シロナガフジ」の4種類のふじの花が植栽されており、花の色も淡い紫色、濃い紫色、薄紅色や白色のふじの花が配色されており、通り全体の約6割を占めています。特に「クチベニフジ」は、つぼみは薄紅色、満開に近づくにつれて、白色に変化し、口紅のように色が残る大変希少なフジの花が植栽されています。

また、「ヤマフジ」は花の房が10cmから20cmと短いものですが、長さの割りに大輪の花が咲く種類があります。その形状から別名「ダルマフジ」とか花が美しく短い「花美短（カピタン）」ともよばれており、シロ色の「シロカピタン」、紫色の「ムラサキカピタン」、紅色の「アカカピタン」の3種類のフジの花が植栽されています。

「ふじ通り」には7種類のふじの花を配色しており、早咲きから遅咲きのフジを植栽することにより、それぞれの開花時期において、花の形状、色や香りの違いを楽しむ歩行空間となっています。



クチベニフジのつぼみ



クチベニフジの花

◆ フジの年間サイクル

フジの一年間の育成サイクルは、成長期と休眠期の二つに大きく分けられます。

一般の樹木は平均気温が5℃以上になると活動し始め、平均気温が5℃以下になると停止するといわれています。フジの花芽は、日照時間や温度、木の栄養状態など、次年の花芽ができる条件が整ってくるのは、6月中旬～7月で、短期間で雌蕊^{しすい}（めしべ）段階に至ります。フジの花芽は雌蕊段階で越冬し、3月以降に再び発育して4～5月に開花します。雌蕊段階で低温（適温0℃、6週間以上）を受け、再び15～20℃に戻されると正常に開花しますが、温度不足や低温後の高温は異常開花の要因となるといわれています。

「ふじ通り」のフジについては、毎年美しいフジの花を開花させるために花後の管理を下記の予定で行っています。

【花後の管理予定】

5月中旬 花がら摘み（豆取）（栄養分確保）

5月下旬 軽剪定①

7月下旬 夏期剪定②（日光を当て、来年の花芽をつくる）

9月中旬 秋季剪定③

11月上旬 軽剪定④

12月～2月 冬季剪定⑤（樹整、誘引、結束）

12月～1月 施肥（気候により前後する場合がある）

- ・ 灌水：気象条件（少降水量）による低木の枯対応に合わせ、フジの樹勢促進を目的に灌水を実施
- ・ やご・ひこばえの剪定：状況により適宜剪定を実施

フジの年間サイクル

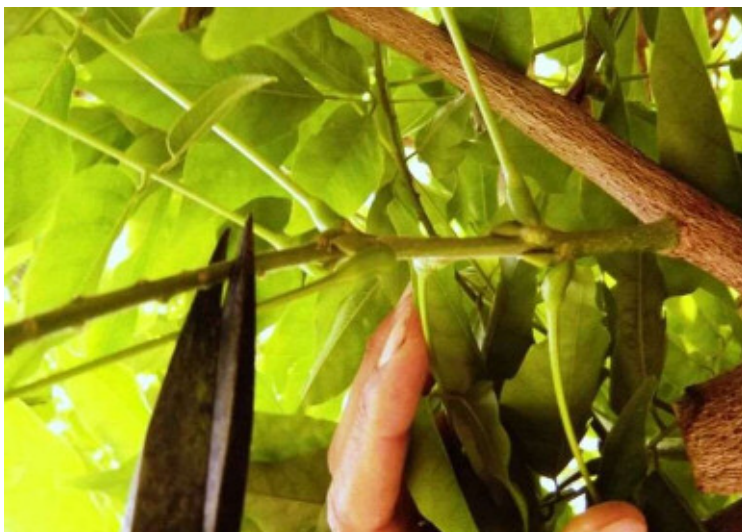
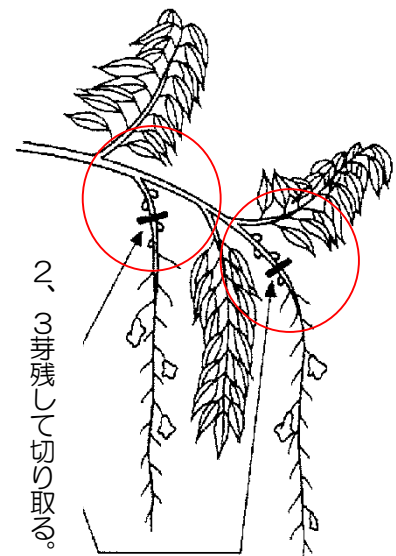
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
育成サイクル	萌芽	開花	展葉	花芽分化					落葉			
	成長期								休眠期			
管理作業サイクル	散果(豆摘み)											
	選定・整枝		軽剪定	夏季剪定	秋季剪定	秋季剪定	軽剪定	軽剪定	冬季剪定	冬季剪定		
	誘引・結束											
	施肥											
	薬剤散布											
害虫発生時期			サビカミキリ			マメコガネ・トラフカミキリ						

■ ポイント1「花がら摘み」

花の終了後、できるだけ早期に摘果（豆摘み）を実施します。いつまでも放置しておくとう実が結実し、木の体力を消耗させ、来年のつぼみができにくくなります。

花がら摘みは、栄養分の損出を抑え、翌年に向けた花芽の生育を促します。

花がら摘み



花がら摘みの様子

2, 3芽を残します

花から摘みと軽剪定



花から摘み前



花から摘み・軽剪定後
花芽をつくるため日当たりを確保

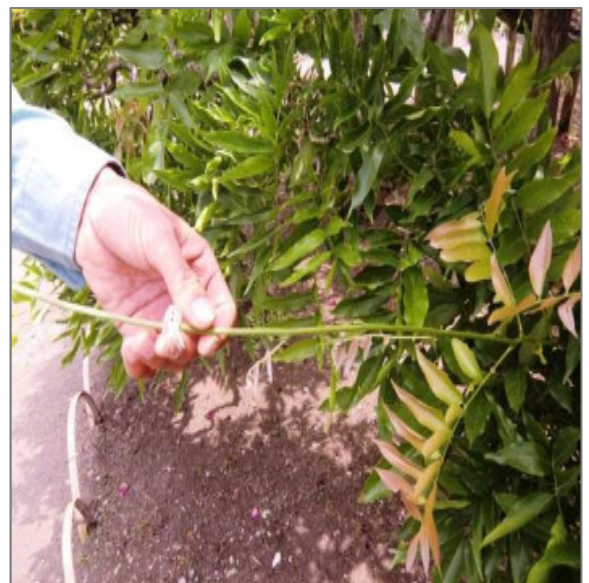
■ ポイント2 「 夏の剪定 」

7月下旬ごろ、花後に伸びたつるを剪定します。街路樹として管理していることから、このままにしておくと道路空間にどんどん伸びてきてしまいます。安全・安心な道路環境の保全のため、2回目の剪定を行います。

切る場所は、つるの根元から40から50cm残して切ります。なぜ、つるを残すのかというと、右の写真のように残したつるの部分には何枚か葉があり、葉の付け根には来年の花芽が既にできています。

フジの花が咲かない場合、つるを根元から切っていることが多いようです。

このあと、秋季剪定も9月から10月にかけて実施しています。



剪定前



剪定後

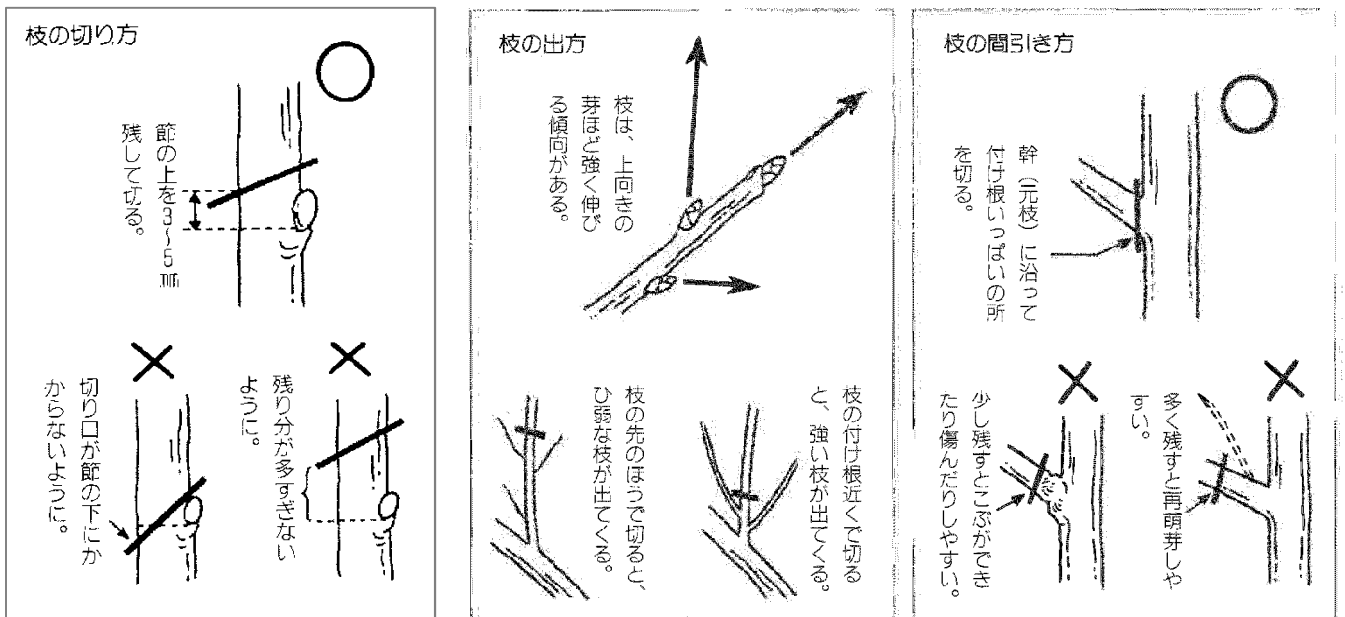


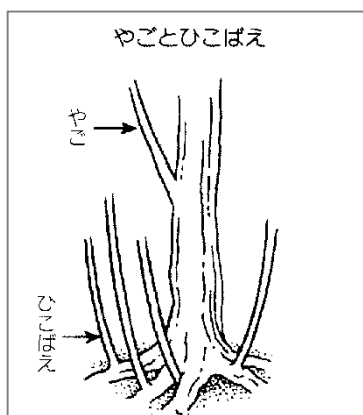
日当たりを確保します

■ ポイント3 「 冬の剪定と誘引・結束 」

基本的な整枝、剪定の期間は、葉が落ちてから3月上旬頃までに行います。まず、込み合った枝、病気におかされた枝、伸びすぎた枝、立ち枝（上に向かっている枝）などを整理します。切り戻す枝は、枝の分岐点や芽のすぐ上で、また、間引く枝は付け根からきります。遠慮がちになりますが、切るべき枝は思い切って切るようにしています。新芽の伸び方を想像し、あとで繁雑にならないように整枝します。つるにできた花芽は根元から2～3芽のこして短く切り詰めます。

この剪定時、もっとも重要なことは、花芽の枝を落とさないことです。





やご・ひこばえについては、
見つけ次第切り取ります
付け根からしっかりと切り
取ります

誘引・結束し
整枝をします



誘引・結束の作業

■ ポイント4 「 病気・害虫 」

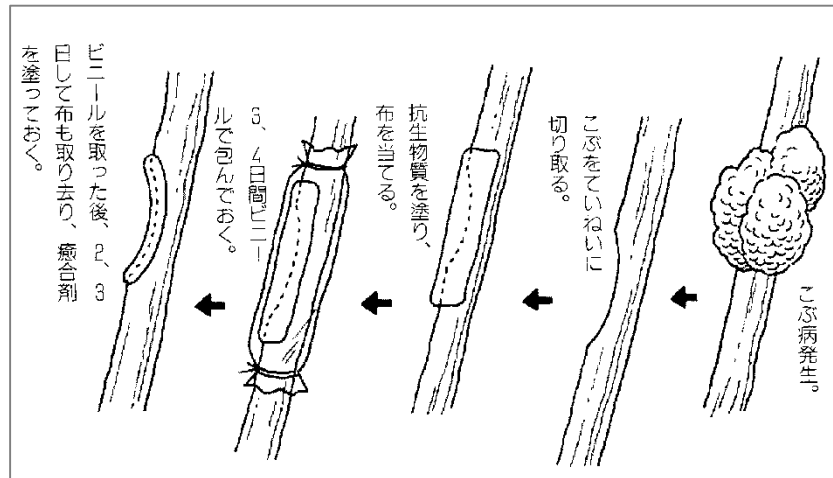
こぶ病について

フジ特有の病害虫対策として心がけたいものは、こぶ病への対応です。こぶ病はフジの幹や根元にゴツゴツした感じのこぶが生じてくるもので、放置しておくともだんだん大きくなり、また他の部分にも感染してしまいます。

こぶ病の発生を防ぐのに効果があるのは、銅製剤（林沐ルド-など）の散布が有効です。6月に入ったら“感染期”と考え、月に2、3回づつ、9月末まで散布を繰り返します。

こぶ病が発生してしまったら、見つけ次第その部分を切り取ります。表面だけでは

なく深めに切り取り、抗生物質軟膏（カマイセチンなど）をていねいに塗布します。



害虫について

害虫については、他の植木と同様に一般的な消毒などの対策で十分ですが、次の害虫には注意が必要です。

- ルリシジミの幼虫 = つぼみを食害
- マメコガネ・クロウリハムシ = 花を食害
- フジハムシ・フジフサキバガ = フジを好み、葉を傷める



フジの花を食べる クロウリハムシ（体長約8ミリ）
（春日部市内の民家にて）

■ ポイント5 「 肥 料 」

肥料は、普通化成肥料（N8・P8・K8）や、樹勢をみながら、チッ素の低い、リン酸の高い成分（例：N3・P10・K10）のものを用いています。

12月から1月には、成木1株当たり化成肥料を100～300gの寒肥を施しています。また、苦土石灰を少量加えるのも効果的です。



平成24年度においては、PK30の高度化成肥料を使用しました

【 参 考 】

窒 素 (N) : 成長促進。特に葉を大きくさせます

リ ン 酸 (P) : 花や実に関係します

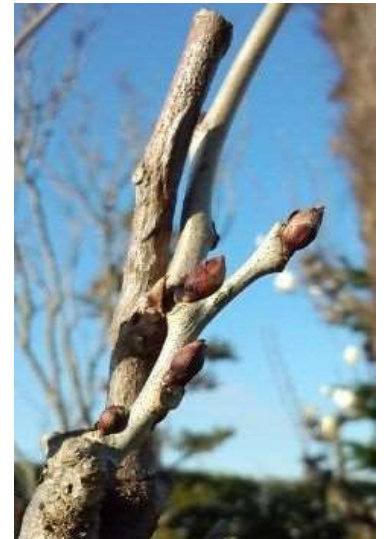
カリウム (K) : 根の発育に関係します

■ ポイント6 「 花芽と日当たりについて 」

フジには春に花の咲く“花芽”と春につるが伸びる“葉芽”があり、花芽は花が咲く年の前年の春から秋に花芽がつくられます。前年に咲いた花房の根元にできる花芽（短花枝）と、前年の夏に伸びたつるにできる花芽の2種類があります。

また、春から秋にかけて、葉に直射日光が当たるようにすることが重要です。日当たりの悪い部分の葉は黄色くなり、花芽も葉と一緒に落ちてしまいます。

ヤマフジ系のムラサキカピタン、シロカピタンなどは一般によく花芽が着生しますが、フジ（ナガフジ）系のムラサキナガフジ、シロナガフジなどは、葉芽と花芽の区別がなかなか困難であり、この系統については、どんな枝によく花芽が着生するか、枝のどの部分にどのように花芽が形成されるか、「短い枝」か、それとも「長つる根本部分」か、など詳細に調査し開花習性をまず知ることが必要となります。一般に花芽は 5cm くらいの短花枝、あるいは 6~12cm くらいの中果枝に多く、20cm 以上の長果枝にはあまり花芽はつかないようです。



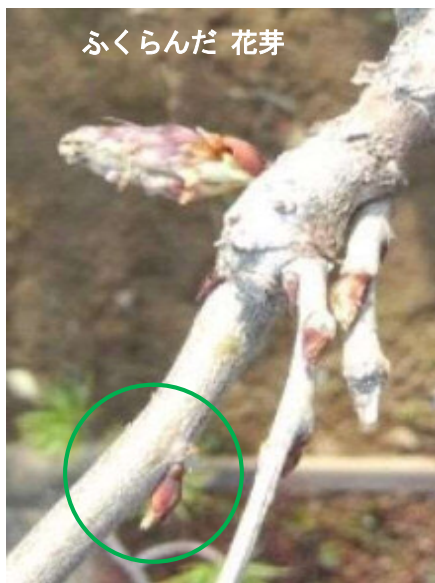
ふくらんだ花芽
丸みをおびている

● フジの芽のワンポイント！

葉芽は小さく枝にぴったりはりついているが、

花芽は丸みをおびてつけ根が少しはなれています。

(フジの花芽は花と葉がひとつになった混芽)



ふくらんだ 花芽

ふくらんだ花芽と葉芽

葉芽は細く（小さく）はりついている

(緑円内)



花芽からのびた花房

Q1. フジの花が咲かない・つかない

A：フジの花を咲かせるためのコツとしては、フジが花をつけるために必要な環境と、花をつける場所をよく知ることが、重要です。

フジを咲かせる環境づくりとしては、

“風通しが良く、葉によく日があたること”が最も重要です。また、“つるが伸びる空間の確保”、“水やりを忘れないこと（特に鉢植え）”が大切です。

花の咲く“花芽”は花が咲く年の前年の春から秋に花芽がつくられます。花芽は、前年に咲いた花房の根本にできる花芽（短花枝）と、前年の夏に伸びたつるにできる花芽の2種類があります。（p.12ポイント6 参照）

Q2. 「ふじ通り」のフジのなかに花が長く下垂していないのは、なぜ？

A：「ふじ通り」には、花房が長く下垂する「フジ」と、花の房の短い「ヤマフジ」の2種類のふじが植栽されています。「ヤマフジ（カピタン）」は、花の房が10cmから20cmと短いものですが、長さの割りに大輪の花が咲き、香がつよいのも特徴となっています。（p.5「ふじ通り」のフジの花 参照）

Q3. 「ふじ通り」のほかにどんなフジの種類がありますか？

A：八重咲きの花「ヤエコクリュウフジ（八重黒龍藤）」があります。

ボリュームが有り、他のフジの花とは趣が異なります。ふじ通りには有りませんが、大沼運動公園正面西側の藤棚で見ることができます。小さい牡丹のような花をつけます。

（p.3フジの種類と特徴 参照）



ヤエコクリュウフジの花

Q4. 施肥について、注意することはありますか？

A：肥料は与えなくてはなりません、与えすぎもよくありません。木の年齢や樹勢、生育環境などによって、与える量や時期などを変える必要もあります。

「ふじ通り」では、街路樹という環境において樹勢をみながら、普通化成肥料やチッ素の低い、リン酸の高い成分（例：N3・P10・K10）のものなども用いています。（p.12ポイント5 参照）

Q5. フジの苗木はわけてもらえますか？

A：フジの苗木の配布などはおこなっておりません。



(春日部市ホームページ ふじ通りのフジ情報より)

過去の開花状況 (春日部市ホームページ ふじ通りのフジ情報より)

2013. 4.24



新・春日部市施行10周年記念「第34回春日部藤まつり」の開催(平成27年4月26日)



大勢の来場者の中パレードの先頭をいく横断幕



春日部市の特産品麦わら帽子をかぶってPR



さまざまな団体などが参加し華やかに行われたパレード



ふじ通りの花の種類



房の短いフジ 開花時期が早く、香りも強いといわれる



シロカピタン

ふじ通りで、一番初めに咲く早咲きの小輪です。柔らかな白色と緑の葉のコントラストがきれいです。

ムラサキカピタン

葉より先に花が出るので、晴れた日には棚一面が明るく鮮やかな紫色に輝きます。

アカカピタン

フジ属の中で最も紅色が濃く華やかな花です。大きなつぼみも特徴です。

房の長いフジ 開花時期は遅く、藤棚から垂れる姿が美しい



ムラサキナガフジ

紫と白の混じった花房が長く垂れ、最も美しい代表的な花です。

コクリュウフジ

花房が密で色彩に優れ、濃い紫色のきれいな花がたくさん咲きます。

クチベニフジ

白色の花先に口紅のような淡ピンク色が吸る、上品な印象の花です。

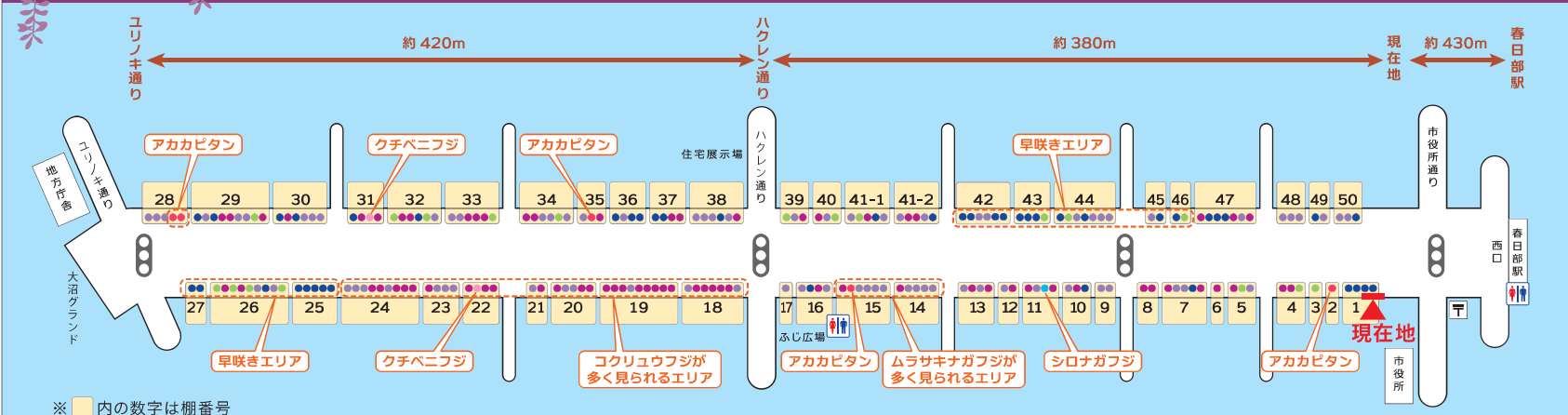
シロナガフジ

ふじ通りで一番最後に咲く遅咲きの小輪です。

● QRコードによりリンクされるホームページ画像例

H27. 4. 1 現在

ふじ通りのご案内



※ 内の数字は棚番号

ふじ通りで見られる花の種類

名前	シロカピタン	アカカピタン	ムラサキカピタン	クチベニフジ	コクリュウフジ	ムラサキナガフジ	シロナガフジ	
種類	花房の短いヤマフジ系(ブラキボトリス)			花房の長いフジ系(フロリバンダ)				
写真								
花色	白色	紅色	紫色	白色	濃紫色	藤色	白色	
房長	10~20cm	10~20cm	10~20cm	30~40cm	20~30cm	50~100cm	約60cm	
解説	花房は短いですが大輪です。一番の早咲きで花つきがよく、香りが強いのが特徴です。	フジ属のなかで最も紅色が濃い品種です。若木のうちは花つきはあまりよくありませんが、樹齢を重ねることに多くなります。	花房は短いですが大輪です。葉より先に花が出るので、棚一面が鮮やかな紫色に輝きます。	つぼみは淡紅色で満開になると白色に変わります。翼弁の先に口紅のような色が残るのが名前の由来です。	丈夫で花つきがよく、花房が密で色彩に優れるという特徴があります。育てやすく万能であることから最も普及している品種です。	美しい代表的な品種であり、古木・名木の多くがこの品種です。花房が長く垂れ美しい花をつけます。	小輪で遅咲きの白藤です。白花種のなかでは特に花房が長いのが特徴です。	
本数	約20本	5本	約50本	2本	約70本	約70本	1本	
時期	← 早い 花の咲く時期 遅い →							
QRコード								

ふじ通りには、総延長1,060メートル(H26年現在の)の藤棚があり、街路樹の藤棚としては日本一の長さです。この藤棚には7種類200本以上のフジが植栽され、4月中旬から5月初旬にかけているいろいろな種類のフジの花を楽しむことができます。ふじ通りのフジに関する情報は、下のQRコードからご覧いただけます。(開花状況もリンクしています)



★QRコードの読み取り方
カメラ付き携帯電話のバーコードリーダーを起動し、QRコードを読み取ることで春日部市役所のサイトにアクセスできます。バーコードリーダーの起動方法は機種によって異なるため、各社の取り扱い説明書、WEBサイト等をご参照ください。

春日部市役所

お問い合わせ先

〈お電話は…〉



048-736-1111

受付 8:30 ~ 17:15 (土日祝を除く)

〈ファックスは…〉



048-736-1974

24 時間受付

〈ネット受付は…〉



「お問い合わせ」フォーム

(※下記 URL 内のフォームをご利用ください)

24 時間受付

<http://www.city.kasukabe.lg.jp/kouhou/shisei/pr/plus1storyproject/fuji/madoguchi.html>

- どなたでもご利用いただけます。
- ご相談方法は、電話、FAX、インターネットのどれでもお受けいたします。お客様のご都合の良い方法でお問い合わせください。
- 回答までに日数がかかることがあります。

参考文献

「NHK 趣味の園芸・フジ」川原田 林 / 日本放送出版協会

「NHK 趣味の園芸・フジ」川原田邦彦 / NHK 出版

「藤なんでも百科」 / 春日部市

「フジの管理に関するマニュアル書」 / 春日部市

平成28年4月

春日部市 建設部 道路管理課 道路維持担当